

平成30年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	公明党室蘭市議会
議員名	砂田 尚子、柏木 隆寿、細川 昭広
調査実施年月日	平成30年7月19日(木)
調査先 自治体名等	宮城県石巻市
調査項目	「石巻市水産物地方卸売市場について」
調査目的	日本最大級並びに最新装備の水産物卸売市場である石巻市水産物地方卸売市場を調査し本市が進める室蘭市地方卸売市場の建て替えに活かすため
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口:146,933人 (H29.10.1現在) 行政面積:554.58km²</p> <p>2 視察内容</p> <p>石巻市は宮城県中部に位置し、世界三大漁場である金華山沖を控えた国際水産都市を標榜している。約200種の水産物が水揚げされる全国有数の水産業のまち石巻にあって平成23年3月11日の東日本大震災により当時、東洋一と言われた旧石巻市水産物地方卸売市場水揚棟(654m)が壊滅的な被害を受けたことはまちの経済等に大きな打撃を与えた。その後、水産庁の強力な復興支援の下、平成27年9月に新時代にふさわしい高度管理型モデルの産地卸売市場として全長880mの閉鎖式水揚棟が完成し供用開始された。放射能汚染の影響を心配する消費者への対応として放射能検査機器も整備し「安全性」の見える化を進めている。しかし、震災から7年経つが、いまだ震災前の水揚げ量には届いておらず資源回復も含め、復興途上と感じた。また、水産加工業においては全国的な人手不足による雇用確保にも同様に苦慮しており外国人技能実習生の受け入れ拡大の要望があるとのこと。</p>
感想(まとめ) 本市へ活かせること等	<p>最新式の閉鎖式高度衛生管理型水産物卸売市場であり、国の主導で被災後3年で復活できたことに驚いた。また、豊富な魚種を背景にブランド魚の出荷で海外への輸出を見据えた市場となっており水揚げ・陳列・販売の状況を見学できるとともに放射能検査も含め衛生管理の行き届いた状況から食の安全性に対するブランド力も高め付加価値を付与していると感じた。本市も現在、地方卸売市場の老朽化による建て替えを検討中である。卸・仲卸業者の意見を集約することはもちろん、食の安全性を考慮した場合、閉鎖式の衛生管理型施設が求められるがどこまでの水準を求めるかにより施設整備費にも影響が出るため十分な検討が必要である。あと市民や観光客が室蘭近辺でとれた新鮮な魚介類等を口にできる場所についても要望が多いがどのような形で実現できるか衛生管理を高度化すると同一建物内外も含め検討が必要である。ちなみに石巻市では市場と道路を挟んで立体駐車場と水産関係者の一時休憩施設や20人程度が入れる食堂、石巻の漁業紹介展示が併設された水産総合振興センターがある。食堂では食券販売機による魚介料理の定食提供がされていた。交通アクセスについても公共交通はタクシーしかないため、観光客が見学で立ち寄る状況にはないと感じた。あわせて町の復興状況も見学したが漁港区近辺はいまだ空き地のところも多く、真の復興には時間がかかると感じた。</p>



平成30年7月19日(木)

宮城県石巻市

石巻市水産物地方卸売市場



平成30年7月19日(木)

宮城県石巻市

石巻市水産物地方卸売市場



平成30年7月19日(木)

宮城県石巻市

石巻市水産物地方卸売市場



>
リック
。

平成30年7月19日(木)

宮城県石巻市

石巻市水産物地方卸売市場



平成30年7月19日(木)

宮城県石巻市

石巻市水産物地方卸売市場



平成30年7月19日(木)

宮城県石巻市

石巻市水産物地方卸売市場



入>
をクリック
さい。

平成30年7月19日(木)
宮城県石巻市
石巻市復興まちづくり情報交流館



平成30年7月19日(木)
宮城県石巻市
石巻市復興まちづくり情報交流館